宮崎県高等学校体育連盟　保健体育教科研究委員会　研究報告

１　研究主題（県学体研高等学校部会）

『健やかな心と体をはぐくみ、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる保健体育科学習を目指して』

○平成２５年度の研究

「体育指導方法に関する研究」の構想

～「スキルアップゲーム」「課題を解決するゲーム」に焦点をあてて～

ネット型：バレーボールのスキルアップテキストの作成

２　研究の経緯

　　宮崎県高体連保健体育教科研究委員会では、平成２２年度から３か年計画で、ゴール型：バスケットボールの持つ特性や魅力に触れ、運動の楽しさや喜びを深く味わう教材として、「スキルアップゲーム」と「課題を解決するゲーム」に焦点をあてた研究を行ってきた。最終年度にはその成果として完成させた「実践例集」を県下の先生方に活用して頂き、アンケート調査により意見を集約した。その結果、様式上の課題はあるものの、多くの先生方の指導に役立っていることがわかり、また「その他の種目についてもこのような資料があるとよい」という要望もあり、今年度は引き続き、ネット型：バレーボールについて同様の研究を行うことにした。

　　研究の目的等の詳細については、小林秀峰高等学校の大西圭先生による「九州地区学校体育研究発表大会佐賀大会」の口頭発表資料をご覧頂きたい。

３　研究の方法

　①６月末までに、各学校に様式を配付し、バレーボールのスキルアップにつながる練習

　　や簡易ゲームの例を提出してもらう。（各学校１部以上）

　②各支部で集約後、学習指導要領解説のネット型技能の例示に照らし合わせて整理し、

　　不足している内容について再度各学校に協力頂き、８月中に資料を提出してもらう。

　　この際集めた資料の一部を、県学校体育研究発表大会都城大会の研究部に紹介し、研

　　究に役立ててもらう。

　③各支部で集約し、全支部分まとめたものを整理し直し、「バレーボール教材集」として、

　　１１月１日の県学校体育研究発表大会高等学校部会で配付する。

４　研究の内容

　以下のページで紹介するものが、今回整理させて頂いた資料の一部である。どれも、県下の先生方が日々工夫改善を繰り返しながら実践してこられた内容である。

　今回は、学習指導要領解説の技能の例示に照らし合わせた整理の仕方を用いた。この方法が適当であるのかどうかの検証はまだできていないが、ねらいを明確にするためには有効なのではないかと考えている。

５　まとめ

　今年度の研究は、仮説を立てそれを検証していくというものではなく、前年度までの研究の成果と言えるものをさらに拡大することを目的に資料収集・整理を行ったということになる。なお、単年での資料発行となったため、集めた資料をほとんどそのまま使用しており、形式を統一するまでには至らなかった。

 今後取り組むべきこととして考えられるのは、先述したようにこのまとめ方が適当であるのかどうかという検証である。さらに、今回資料を収集してみて、例示の中でも技能レベルが高い内容のものに関しては、バリエーションが少なかった。入学年次よりもその次の年次以降の授業において役立つものに絞ってスキルアップテキストのさらなる充実を図るということも必要かもしれない。

　また、前年度までに要望として挙がっていた「映像化」の実現も課題である。ＤＶＤ化やネット公開を視野に入れた動画の製作を望むたくさんの声に応えたいという思いもあったが、今年度はバレーボール版を作成することを優先した。

　次年度は新しい研究テーマに取り組む予定になっているため、本委員会としては、これらの課題をすぐに解決することはできないが、支部や各学校での取り組みとしてスキルアップテキストの作成に取り組むところがあるとしたら、これらの反省を役立てて頂けるとありがたい。